

## 研究実施のお知らせ

当院で実施する以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	手術部位感染の分離菌に対する三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス
研究責任者氏名	畑 啓昭
研究期間	倫理審査承認日 ～2020年3月31日
研究対象疾患	疾患名:消化器系手術の術後感染
研究対象期間	受診日:西暦2018年10月1日～2019年4月30日
研究に用いる試料・情報の種	<input checked="" type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報
研究目的・意義	術部位感染症患者より分離された原因菌に対する各種抗菌薬の感受性を測定し、原因菌の患者背景・地域別の分布及び感受性推移・耐性化動向を経年的に検討することにより、感染症化学療法の適正化を促進することを目的とします。
研究の方法	消化器手術の術後の感染が診断され、膿、穿刺液、腹水、胆汁などから検出された <i>Bacteroides</i> 属、 <i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA, MSSA)、 <i>Enterococcus faecalis</i> 、 <i>Escherichia coli</i> 、 <i>Klebsiella pneumoniae</i> 、 <i>Enterobacter cloacae</i> 、 <i>Pseudomonas aeruginosa</i> を北里大学抗感染症薬研究センターに送付します。送付施設にて各菌株の抗菌薬感受性を測定します。感受性の結果と手術名、感染部位など手術情報を集計、解析し抗菌薬感受性率、耐性菌検出率、経年的な感受性の変化を解析します。
外部への試料・情報の提供	採取された菌株、手術情報は北里大学抗感染症薬研究センターへ送付され、個人が特定されない状態で10年間保管されます。
研究組織	研究機関:当センター、その他別紙に示す34施設
個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した(匿名化といいます)上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する連絡先	診療科名等:外科 担当者氏名:畑 啓昭 [電話] 075-641-9161